

資料6

平成27年度 総合計画ロードマップ 評価シート

委員意見集約

基本事業番号	2	担当所属	健康福祉部 家庭児童相談室
基本事業名	児童虐待の防止		
総合計画の基本目標	1 豊かな人間性をはぐくむまち		
総合計画の施策名	①子育て・子育て支援の充実		
別紙4「最終評価イメージ案」の記入例を参考にご記入ください。			
<最終評価>		1～5点(期待する水準を5点満点として評価)	
必要性	…市民ニーズ、社会状況に照らしたうえで、事業目的に妥当性はあるか。		外部評点 4.5
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の社会情勢を考えた上で、大きな社会問題となっている児童虐待について、この事業の目的はニーズに合ったものであり、また、野洲市独自の取り組みであり妥当性は十分にあると思われる。 ・児童虐待の連日の報道は、過酷な児童虐待は決してなくならないという悲しい現実を我々に突きつけている。野洲市でも、目には見えないだけで実際に起きていると多くの市民が考えている。少しでも児童虐待を防ぐためニーズはおおいにあると言える。 ・命に関わる事案もあり、社会的緊急性がある。 ・近年、児童虐待相談件数が伸びている。啓発効果も含まれると思われるが、そうした潜在的事案も含めて、社会的ニーズは高い。 ・少子化、核家族、また単親子家庭、さらには格差社会が深まっていく中、困窮家庭の存在など、それらの事情に配慮し、公的支援を行っていくことが求められている。 ・社会問題化している家庭内暴力を廃絶するために、必要性は高い。 ・社会状況(社会構造)が核家族化しているので、地域社会、家族同士の関係改善や「人格の尊厳」に対する意識改革や教育が必要である。 ・シングルマザーなど家庭環境が複雑な家庭が非常に多くなっており、特に児童虐待については重要課題だと感じる。より一層の取組を期待する。 			
有効性	…期待される効果をあげているか。		外部評点 3.5
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性については、期待度の高い事業に思われるため、現時点では十分な効果は見られないように感じる。また、事業の性格上難しい部分も多いので、徐々に効果が見られれば良いのでは。 ・現在は児童虐待マニュアルの作成、児童虐待の未然防止の支援体制を構築しつつある状況である。しかしまだ児童や保護者が身近に相談できる場所や相談員等の人材は少ないように思われる。 ・地域の見守りが大事であることは理解できるが、マンション等に住んでいる人との交流が少ない中で、十分見守ることは出来ているのか。見えない所で起きている状況を少しでも掴むため、もう一歩具体的な支援体制作りが必要ではないか。 ・相談件数が増えていることは、啓発効果などもあるので、一概に「悪化」しているとは言えない。 ・効果を定量的に測ることは困難だが、母子保健との連携やコモンセンス・ペアレンティング・プログラムなどは虐待の未然防止策としての有効性が期待されるものである。 ・アウトリーチ型支援の拡充などによりさらに効果が高まることが期待される。 ・依然として隠れている部分があるかもしれないが、支援・相談等よく対応している。 ・訪問型支援やCSPがなされているが、例えば訪問の際に、相手の家庭環境の留意やCSPの際に「対等(キーワード)な向き合い」を心掛けるなどの配慮が肝要である。 ・「たて」と「よこ」のつながりをもっと強化して事業を進めてほしい。 			

合理性 ……市(行政)が行う事業としての合理性があるか。	外部評点	4.0
<ul style="list-style-type: none"> • 行政が行う事業ではあるが、学校や地域・警察と共に横の連携が必要な事業である。 • 市が取り組むべき大事な事業であり合理性がある。 • 未成年者の保護は一義的には親権者等の「保護者」の義務であるが、その保護者による虐待などがある場合には行政が介入すべきことは当然かつ必要である（児童福祉法第1条及び第2条）。 • 個別的な事柄ではあるが、人間社会の原点（家族）を確かなものとするには、その家族形成の草創期ともいうべき幼児、児童、生徒をサポートする必要がある。 • 孤立化した家庭には、市が中心となり、行政、福祉、警察、地域などネットワークを密にして対応し、問題解決、交流の促進を推進していただきたい。 		
総合評価 * 事前照会では記載不要です。		1～3の3段階で評価
○所見	外部評点合計	12.0/15
Content for the '所見' section is blank in the image		
○評価指標 * 「外部評点」 1～5点（期待する水準を5点満点として評価） * 「総合評価」 1～3の3段階で評価 3：拡充して継続 ……目標以上の効果が得られており、事業を拡充して進めることが適当である。 2：改善のうえで継続 ……事業の継続は必要だが、実施方法やコスト等を見直したうえで効率的な事業運営を行う必要がある。 1：大幅な見直し ……事業目的、実施方法、事業の妥当性等に課題があり、廃止を含めた事業の大幅な見直しが必要である。		

平成27年度 総合計画ロードマップ 評価シート

委員意見集約

基本事業番号	30	担当所属	環境経済部 農林水産課
基本事業名	地産地消の推進		
総合計画の基本目標	3 地域を支える活力を生むまち		
総合計画の施策名	②農林漁業の振興		
別紙4「最終評価イメージ案」の記入例を参考にご記入ください。			
＜最終評価＞		1～5点（期待する水準を5点満点として評価）	
必要性	…市民ニーズ、社会状況に照らしたうえで、事業目的に妥当性はあるか。		外部評点 4.0
<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消は以前より、農業の活性化と共に重要な課題であり、必要性の高い事業である。 ・特に野洲市は自然に恵まれ、農地も多いが、地産地消については十分で無いので妥当性は高い。 ・社会的に見ても、新鮮で生産者が見える農産物をできるだけ買いたいと望む消費者が増えており、市民も食の安全性に関心をもっている。野洲は無農薬や有機栽培に取り組まれている農家もあると聞く。地産地消はこれからの目指すべき農業のかたちであるので、市民のニーズがあるという点で事業の目的に妥当性はある。 ・農林漁業の従事者の観点からはある程度ニーズがある。 ・消費者側からも安心のできる地元産の農林水産物に対する需要も一定程度あると思われる。 ・まさに地産地消に取り組む地元産業を活性化し社会経済的基盤を強化すること、また食の安全性を確保し健康の基盤をつくることが求められている。 ・このテーマは地域活動を活性化、推進するため（地域を支える活力を生むため）に、必要性は非常に高い。 ・野洲市は地産として有名なものは少ない。たでを使った特産品はあるが、地産に至っていない。市内に限定せず、滋賀県野洲市という視点でOpen Innovation(共同革新)を強化すべきと考える。大津市南部地域とのキャベツの生産活動協力は良い例。 ・希望ヶ丘文化公園内に、温泉も含め特産品の販売、試食できる健康拠点造りを県と協議して欲しい。 			
有効性	…期待される効果をあげているか。		外部評点 2.8
<ul style="list-style-type: none"> ・有効性については、期待される成果は上げられていないように感じる。 ・農業に関しては、後継者の問題もあり、生産性は上がっていないし、むしろ衰退しているように感じる。 ・特色のある農業経営をより一層推進すれば、効果が上げられると期待する。 ・おいで野洲まるかじり協議会の活動の支援について、これからも取り組んでいくと思うが、もう少し地元で作られている農産物や、提供する場所のPRがあってもよい。 ・学校給食における市内産野菜の使用率は昨年までは順調に増加してきた（今年度最終は未定）。 ・「おいで野洲まるかじり協議会」は発足したが、その有効性は現時点では不透明。 ・事業領域が主に学校給食に限られており、市場性を捉える勢いを伴っていない点が課題である。 ・地道な活動であるが、水田における野菜の生産活動は評価できる。 ・若い世代が熱意をもって取り組んでいることが評価できる。 			

合理性	…市(行政)が行う事業としての合理性があるか。	外部評点	3.8
<ul style="list-style-type: none"> ・農業は地域や農業経営者の努力も必要であるが、行政の手助けや補助が必要な事も多い。 ・農業経営者と行政だけでなく、大学や企業の智慧や技術も借りながら、特色のある農業ができれば地産地消もより活性化すると思われる。 ・市民は、地元産の新鮮な農産物を手に入れたいなど、食の安全へのニーズが高まっており合理性はある。 ・地産地消の推進は、産業振興という観点からは行政として関わることに一定の意義があるが、JAや一般の販売業者によって強かに推進している事例もある。 ・地域活性化策として市の事業として取り組むべきものである。 ・野洲市の行政として、市内に限定せず、開かれたOpen Innovation(共同革新)の推進を図って欲しい。 ・若い世代が熱意を持った取り組みも、市として支えていってほしい。 ・テーマとしての必要性は高いので、積極的な市の協力と成功までの強力な推進が肝要である。 			
総合評価 * 事前照会では記載不要です。		1～3の3段階で評価	
○所見	外部評点合計	10.6/15	外部総合評価
○評価指標			
* 「外部評点」 1～5点 (期待する水準を5点満点として評価)			
* 「総合評価」 1～3の3段階で評価			
3 : 拡充して継続	…目標以上の効果が得られており、事業を拡充して進めることが適当である。		
2 : 改善のうえで継続	…事業の継続は必要だが、実施方法やコスト等を見直したうえで効率的な事業運営を行う必要がある。		
1 : 大幅な見直し	…事業目的、実施方法、事業の妥当性等に課題があり、廃止を含めた事業の大幅な見直しが必要である。		

平成27年度 総合計画ロードマップ 評価シート

委員意見集約

基本事業番号	64	担当所属	総務部 納税推進課	
基本事業名	債権の管理体制及び手法の整備			
総合計画の基本目標	6 市民と行政がともにつくるまち			
総合計画の施策名	④効果的・効率的な行政運営			
別紙4「最終評価イメージ案」の記入例を参考にご記入ください。				
<最終評価>			1～5点(期待する水準を5点満点として評価)	
必要性	…市民ニーズ、社会状況に照らしたうえで、事業目的に妥当性はあるか。		外部評点	3.5
<ul style="list-style-type: none"> ・野洲市として特徴ある事業ではあるが、今ひとつ必要性のある事業とは感じない。 ・取り組んでいる債権管理が難しく、今一つ市民になじんでいないが、地方税の事から考えても、市民の公平性の観点からみても債権の回収は大事であり、事業に妥当性はある。 ・非正規労働者の増加や、高齢化社会、核家族化など様々な要因によって、滞納などの問題も発生してきており、市民としても社会としてもニーズは高い。 ・今日の社会情勢を考えると、放置できない問題で取り組むべき事業である。 ・生活再建機能との連携はユニークであり必要である。 				
有効性	…期待される効果をあげているか。		外部評点	3.0
<ul style="list-style-type: none"> ・債権管理の裏に生活困窮者についての対策があり、移管基準マニュアルの作成等、まだまだこれから取り組んでいくべき課題が山積みのように思う。効果がみられるのは、もう少し時間を要すると思われる。 ・現在、法的措置や手続きの整備中であり、最終的な有効性については確認する段階にないが、目的に向かって徐々にではあるが進捗している。 ・債権が多岐にわたり、それぞれの債権者が抱える、一朝一夕にいかない複雑な事情を分析し、債権の整理だけでなく債権者たちの生活が改善しないと、基本的な解決とならない点がこの事業の容易ならざる問題である。 ・非常に特徴のある事業と思われるので、よりよい効果が上げられる事を期待したい。 ・現時点では十分な効果があげられていないと思われる。 ・成果(効果)が出るまでに時間を要すると思われる。 				

合理性 …市(行政)が行う事業としての合理性があるか。	外部評点	3.5
<ul style="list-style-type: none"> • 行政でしかできない事業ではあると思うが、必要性と同じく、今ひとつ展望が見えない事業である。 • 成果が上げられれば、野洲市としての特徴ある事業と思われる。 • 合理性はあり、大事なことであるとする。3か年計画と聞いているので、それぞれの債権に対する一つ一つの基準作りなど難しいとは思いますが、今後の取り組みに期待したい。 • 行政に直接的に関わる問題であり、行政のみが行うことのできる事業である。 • 債権者たちに任せておけば解決する問題ではなく、公的に取り組まないことにはどうにもならない課題である。 • 市民生活相談課の生活再建機能との連携に特色があり、児童虐待家庭に多い生活困窮者を減らす取り組みは、市が行う良い流れと評価できる。 		
総合評価 * 事前照会では記載不要です。		1～3の3段階で評価
○所見	外部評点合計	10.0/15
Empty space for comments		
○評価指標 * 「外部評点」 1～5点 (期待する水準を5点満点として評価) * 「総合評価」 1～3の3段階で評価 3：拡充して継続 …目標以上の効果が得られており、事業を拡充して進めることが適当である。 2：改善のうえで継続 …事業の継続は必要だが、実施方法やコスト等を見直したうえで効率的な事業運営を行う必要がある。 1：大幅な見直し …事業目的、実施方法、事業の妥当性等に課題があり、廃止を含めた事業の大幅な見直しが必要である。		